

通関試験合格に向けて

学生氏名 山住 桃果 中根 朝花
永田 莉穂 藤田 然
担当教官 瀧川 臨

1. はじめに

昨年の10月に通関士試験を受けて3科目あるうちの通関実務が1番難しく点数が取れなかった。他の科目は択一式と選択式なのに比べ、実務の科目は計算や別紙を見て解く問題など様々な問題形式で出題されるため、素早く理解することや時間配分に気をつけて解くことが大切だと分かった。

そこで、前回受験して分かったことや、分かりやすい解説を考えて解けるようになるため、この研究テーマにした。

2. 通関試験とは

通関試験とは国家資格であり受験制限はない。試験に合格すると通関士となる資格を持つことができるが、通関士試験に合格しても通関士になることはできない。通関士になるには通関士資格を持った人が通関業に携わる会社に就職し、通関業に従事して財務大臣の確認を受けることで初めて「通関士」を名乗れる。試験科目は3科目あり、合格点は各科目6割以上で、合格率は大体10%~20%になる。

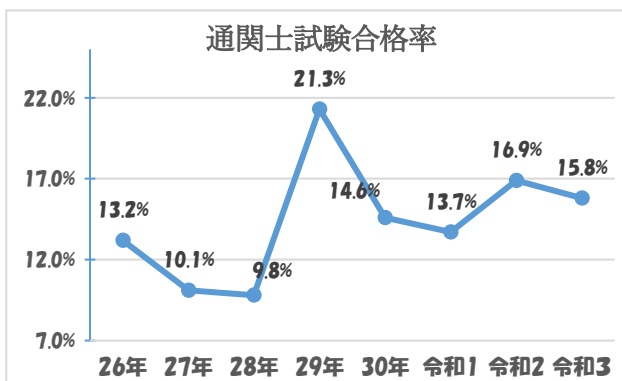


図1 通関試験合格率

3. 統計品目番号の探し方について

輸出と輸入で統計品目番号を探すところでは、全問正解すると10点取ることができる。

実際に問題を解くことで、どのようなところで間

違ったのかを反省・確認をし、注意する点を話しあった。

① 該当する番号に印をつける

問題文の1番下にある、統計品目番号の選択肢に該当する番号に印をつけ、10桁目がEかXで記載されている場合はそれらも記入する。

② 問題文に線を引く

問題文の中にある、INVOICEに記載されている商品について詳しく説明されている文に線を引く。

(語尾に注意する)

③ 商品の材質を確認

先ほど②で引いた問題文をよく読み、商品の材質を確認する。英単語がわからない場合、統計品目表の右側にある英単語から同じものを探す。

④ 類の注をみる

統計品目表の類の注の文を確認する。(類の注は統計品目番号の下)

⑤ 関税率表解説(抜すい)をみる

先ほどの④「類の注を見る」時と⑤「関税率表解説(抜粋)を見る」時は、語尾に気を付ける。

4. 統計品目番号と申告価格

4-1 輸出入申告共通

① 統計品目番号が同じとき

商品は違うが統計品目番号が同じとき、1つにまとめて申告する。

② 10桁目がEになるとき

申告価格が20万円以下で商品が1つのとき、10桁目をEとする。

4-2 輸出申告

① 10桁目がXになるとき

申告価格が20万円以下の商品が2つ以上あった場合、申告価格が最も大きい商品の統計品目番号にまとめて10桁目をXとする。

4-3 輸入申告

申告価格が 20 万円以下の商品が 2 つ以上あった場合、有税品と無税品に分けて申告をする。

① 10 桁目が X になるとき (有税品)

関税率が 1 番高い商品の統計品目番号にまとめて、10 桁目を X とする。

② 10 桁目が X になるとき (無税品)

申告価格が最も大きい商品の統計品目番号にまとめて、10 桁目を X とする。

5. 計算問題

申告価格の計算問題を解く前に覚えること

① 輸出貨物の申告価格の貿易条件

FOB (Free on Board)

FOB : 指定船積港において、買い手によって指定された本船の船上で貨物を買手に引き渡した時に引き渡し義務を完了し、買い手は売り手から貨物の引き渡しを受けた時以後の一切の費用及び滅失・損傷の危険を負担する。

② 輸入貨物の申告価格の貿易条件

CIF (Cost Insurance and Freight)

CIF : 輸入港に到着するまでの、運賃と保険料を加えたすべての費用を負担する。

③ 申告価格の計算方法

商品の申告価格が外貨の場合、申告年月日の 2 週間前の週間平均値をかける。(週間平均値は税関の HP 為替相場を参照)

第10問 次の取引内容に係る輸入貨物の課税価格を計算し、その額をマークしなさい。

- 1 本邦の輸入者Mは、A国の輸入者Xに生地を無償で提供し、当該記事によりA国で生産された靴1,000個を取得することを内容とする委託加工契約を締結し、当該契約により当該靴1,000個を輸入する。
- 2 MとXとの間の当該契約における当該靴1,000個の加工賃 (EXW価格) は、4,500,000円である。
- 3 Mは、本邦の生地生産工場Nから当該生地を2,000,000円で取得する。なお、Nが当該生地の生産に要する費用は、1,400,000円である。また、Mは、当該生地をXに提供するために要する運賃80,000円及び保険料30,000円を負担する。
- 4 Xは、A国における当該生地の輸入通関手続に要する費用10,000円を負担する。

5 Mは、この取引に関連してA国所在のYと委託契約を締結する。Yは、当該委託契約により、Mの管理の下で、Mの計算と危険負担により、当該靴の引渡しに関する業務を行う。Mは、当該業務の対価として50,000円の手数料をYに支払う。

6 Mは、上記費用等とは別に当該靴の輸入に関し、次に掲げる費用等を負担する。

イ A国のXの工場から輸出港までの運送に要する運賃及び保険料・・・82,000円

ロ コンテナ賃借料・・・30,000円

ハ 輸出港から輸入港までの運送に要する運賃及び保険料・・・203,000円

ニ 輸入港における船卸しに要する費用・・・55,000円

ホ 輸入港からMの販売店までの運送に要する運賃及び保険料・・・36,000円

7 Xは、Mから提供を受けた生地を全て使用して当該契約に係る当該靴1,000個を生産するものとする。

8 M、N、X及びYの間には、それぞれ特殊関係はない。

図 2 通関士試験第 55 回問題

まとめ

試験の内容は通関書類の作成要領、輸出申告書、輸入申告書、選択式、計算式、択一式がある。実務の科目は別紙を見て統計品目番号を探すことや、計算があり様々な出題形式で問題が出されるので時間配分に気をつける。合格点は 6 割以上なので 45 点満点中 27 点以上取らなければならない。そのため内容をしっかり理解し、慎重に解くことが大切になるので問題をたくさん解いて慣れておくこと。そうすれば自信が付き早く解くことができるため、残りの時間は見直しなどをしてミスが減らすことができる。重要な箇所はマーカーなどで線を引き、分かりやすく工夫することが必要。

本番は緊張するが、自分が今までやってきたことを出し切れれば必ず結果はついてくるので、自信を持って試験に望むこと。

参考文献

[1]通関士の指針 公益財団法人日本関税協会 2022 年 4 月 12 日

参考 Web

[1]<https://www.customs.go.jp/tetsuzuki/kawase/index.htm>

[2]https://www.customs.go.jp/tsukanshi/55_shiken/55shiken_mondai.html